

2025-2026年度国際ロータリーのテーマ



2025-2026年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

「UNITE FOR GOOD」
よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度岡山北ロータリークラブのスローガン

元気になることをしよう

2025～2026年度 *Rotary Club of Okayama North*

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所／〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
 TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
 E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
 http://okayama-kita-rc.jp/

例会場／岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
 例会日／毎火曜日 12:30～13:30

理事・役員

2025.7～2026.6

会 長	高 畠	浩 剛
副会長	上野山	信 義
幹 事	砂 田	達 浩
幹 事	宮 岸	慈 司
会 計	井 本	海
S.A.A.	宅 島	
副S.A.A.	磯 三	

会員増強・退会防止(理事)
 広報(理事)
 奉仕プロジェクト(理事)
 ロータリー財団(理事)
 クラブ3年計画
 親睦活動
 プログラム
 直前会長(理事)
 次期会長

馬 永 場 幸 三
 山 野 山 雅 己
 廣 磯 島 景 治
 磯 牧 本 芳 樹
 杉 山 太 郎
 米 林 洋 真
 高 橋 茂 樹
 上野山 剛

モバイルサイトへのアクセスは
 QRコードをご利用ください。
 (岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「これまでの学びの振り返りと今後の目標」
 米山奨学生 チョウン ヒエン ヴーン 様

次回11月11日のプログラム

「県財政の健全性と請願について」
 株式会社荒木組
 代表取締役 荒 木 雷 太 様
 (岡山中央RC)

11月のお祝い行事

会員誕生日：中山、高取君
 結婚記念日：鴻上、宮武、永山、
 大塚、關、坪井君

前回10月21日の例会記録

出席の状況

会 員 数 51名 (出席免除者0名)
 出席者数 28名
 欠席者数 23名
 出 席 率 54.90%

ゲスト

岡山大学学術研究院医歯薬学域
 医療情報化診療支援技術開発講座
 教授 長谷井 嬢 様

スケジュール

11月 ロータリー財団月間

4日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
 11日(火) 12:30～例会・第5回理事役員会
 18日(火) 12:30～例会
 25日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

12月 疾病予防と治療月間

2日(火) 12:30～例会：クラブ年次総会
 第6回理事役員会
 9日(火) 12:30～例会
 16日(火) 例会変更→21日
 21日(日) クリスマス家族夜間例会
 23日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
 30日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

本日のメニュー：ヘルシーランチ (和食)

次回のメニュー：洋食

会長挨拶



先日の例会では、大塚先輩より、岡山北ロータリークラブの歴史や、私たちが知らなかった貴重なエピソードを交えた素晴らしいスピーチを頂戴いたしました。先輩のお話を通して、クラブの歩んできた道のりに思いを馳せ、新たな発見と学びを深めることができました。

詳細につきましては、本日配布されております週報にも原稿が掲載されておりますので、お目通しいただければ幸いです。

大塚先輩から頂戴いたしました「ポコ ア ポコ」という冊子は、当時のロータリークラブの活動や組織を理解する上で、大変貴重な資料であると同時に、ロータリーを簡潔に学ぶことができるツールだと思いました。

今年度の国際奉仕について、廣野奉仕プロジェクト常任委員長、小野国際奉仕委員長と直接お会いし、今後の活動方針について話し合う機会を設けて協議致しました。

皆様にもメールにて国際奉仕や国際大会に関するアンケートをお送りしておりますので、ぜひご意見を頂き、国際奉仕活動の参考にさせていただきたいと思ひます。

本日は長谷井嬢先生にお越しいただいております。先生のご紹介につきましては、後ほど米林プログラム委員長からさせていただきます。

皆様、本日もどうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

- 来週10月28日例会終了後、指名委員会がございますので、関係の皆様お忘れのないようお願いいたします。
- ハイライトよねやま Vol.307、他クラブ週報を回覧いたします。

S. A. A.

高畠君：長谷井様、本日はどうぞよろしくお願い致します。

永山君：平野さん、冤罪の疑いをかけられたらしく、申し訳ございません。犯人は私です zzz。

米林君：長谷井先生、ご来訪ありがとうございます。

伊藤君：誕生日のお祝いありがとうございます。

山本(和)君：先日のゴルフ例会でパートナーと天候に恵まれ優勝することができました。

長谷井先生の卓話に期待しています。

磯島(慈)君：長谷井様の卓話を楽しみにしています。

本日スマイル頂きました皆様ありがとうございます。



幹事報告



出席報告



スマイル報告

同好会報告 〈ゴルフ同好会〉



開催日:2025年10月11日(土)／コース:玉野ゴルフ倶楽部／競技方法:持ハンディ

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	山本 和秀	46	42	88	14	70
2位	宮武聡一郎	49	44	93	17	73
3位	高橋 茂樹	55	48	103	28	73
4位	正保 宏倫	47	47	94	20	74
5位	山本 宣良	44	52	96	20	76
6位	大塚 雅司	42	44	86	7	79
7位	松田 次歳	43	51	94	14	80
8位	磯島 芳樹	56	49	105	24	81
9位	佐々木和也	48	48	96	14	82
10位	内座 隆文	45	43	88	5	83
11位	上野山 剛	51	54	105	21	84
12位	妹尾 一人	56	57	113	21	92

(同好会幹事 坪井 翔)



私たちは、主に小児から39歳までの若年がん患者の皆様に向けた、メタバース（仮想空間）を用いた、革新的な心理社会的支援システムの構築を目指しています。この取り組みは、単なる技術導入ではなく、医療におけるウェルビーイング向上を目指す挑戦でもあります。

がん治療の現場では、特に若い世代の患者様が直面する深刻な課題があります。希少がんの発生率が高いこの年齢層では、同じ境遇の仲間と出会う機会が極めて

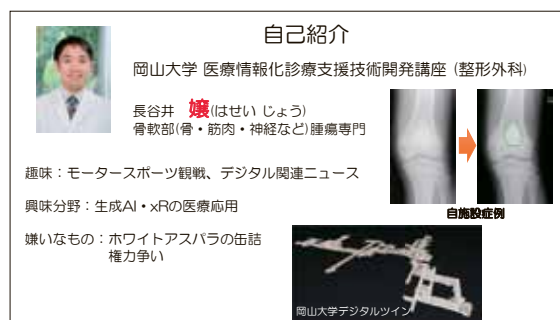
限られています。長期入院による社会的な断絶、治療に伴う容姿の変化への不安、学業や仕事の中断による将来への焦燥感、そして何より「一人で闘っている」という孤独感。これらが治療への意欲を削ぎ、QOL（生活の質）を著しく低下させているのが実情です。

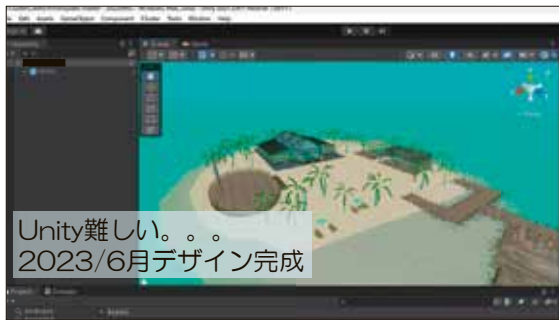
私たちは、この課題解決の鍵を最新のデジタル技術に見出し、仮想空間技術を医療現場に導入し、物理的制約を超越した新しい形の患者支援システムを実現しています。患者様はアバターという仮想の姿を通じて、全国各地の病院で治療を受ける仲間たちと自由に交流できます。髪が抜けた、顔がむくんでいる、といった外見を気にすることなく、交流することができます。

この空間では、単なる患者間の交流にとどまらず、治療を乗り越えた先輩患者（サバイバー）からの貴重な体験談の共有も可能です。すでに岡山大学病院を中核として全国22の医療機関が参画し、VRゴーグルやタブレット端末を活用した支援を展開中です。各施設では医療スタッフが機器の使用をサポートし、誰もが簡単に参加できる環境を整備しています。

現在、このメタバースに参加するための経費を集めるために、クラウドファンディングを実施しています。このご支援により、支援対象施設の拡充、通信インフラの強化、仮想空間コンテンツの多様化を図って参ります。

この取り組みの本質は、最先端テクノロジーを「人と人をつなぐ希望の架け橋」として再定義したことにあります。医療のDX推進という技術的側面を超えて、患者様の心に寄り添い、共に病と闘う仲間の存在を実感できる温かな空間の創出。それこそが、私たちが目指す新しい医療支援の形です。

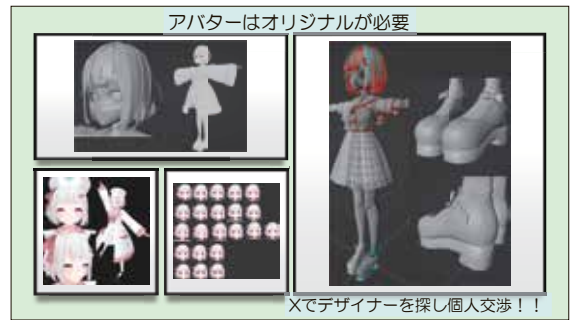
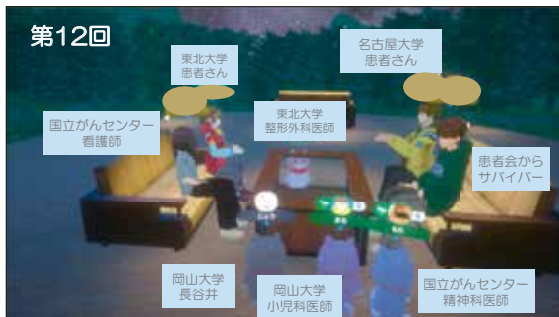




脊椎発生ユーイング肉腫

- ①おしりが痛かった(下痢)ので、トイレットペーパーを持ち込んだ
- ②ニオイが臭について困ったので、ガムを噛むと緩和された
- ③食欲が出ない時は冷えた飲み物などが摂取しやすかった

患者さん同士での活きたアドバイス交換
岡大の患者さんは殆ど笑顔がありませんでしたが、交流時には笑顔を見る事ができ、とても貴重な交流が実現しました！



地方	参加施設名	メタバース空間での患者交流
北海道	北海道大学病院	
東北	東北大学病院 弘前大学医学部附属病院	
関東	がん研有明病院 杏林大学医学部付属病院 国立がん研究センター中央病院 聖路加国際病院 神奈川こども医療センター 静岡がんセンター	
中部	岐阜大学病院 金沢大学附属病院 名古屋大学医学部附属病院 名古屋医療センター	
近畿	大阪府がんセンター 大阪大学医学部附属病院 兵庫県立こども病院 大阪母子医療センター	
中国	岡山大学病院 鳥取大学医学部附属病院	
四国	四国がんセンター 愛媛大学医学部附属病院	
九州	九州大学病院	





小児科医療における ディストラクションの役割

(Distraction: 気を散らすもの、気晴らし)

小児科医療において、ディストラクションは患児の不安や恐怖を軽減する上で重要な役割を果たします。

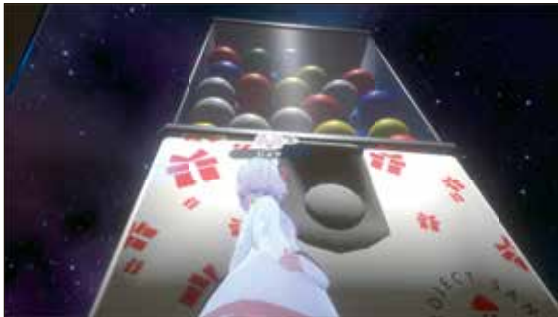
痛みや不快感を伴う検査や治療を、より受け入れやすくします。



メタバースでガチャガチャ



超巨大ガチャ！



メタバースガチャの感想紹介

終末期の患者さんに、これまでの頑張りに対し誕生日プレゼントとしてガチャを引いてもらった。
ご家族が呼びかけても反応がほとんどなくなっていたが、タブレットや景品を見ようと眼を開ける様子があった。
また、「真ん中(のガチャ)」など、**ゆっくりと発語**があったり、**当たった景品をゆっくりと振りしめる反応**もあった。
ご家族も、「すごい。喋ってましたね。ありがとうございます。」と、喜ばれていた。

放射線治療を頑張っているお子さんに、ガチャで景品をプレゼント。
「うわー、いいのー？」と目を見開いて笑顔になり、景品をもらって嬉しそうに持って帰りました。
「5回目の放射線も頑張れる」と話しました。
お母さんも「嬉しいこといっぱいだね。(ユニコーンの卵を孵化させる玩具)楽しみなだね。ありがとうございます。放射線する時に持って行ってみんなに見せようね。」と、プレイルームから帰室された。



“つらい”を“楽しい”に変える！VRリハビリを 岡山大学と日本電子専門学校が共同開発



小児リハビリの課題

身体的な壁: 避けられない苦痛
回復に不可欠な訓練そのものが、痛みや倦怠感を伴う

心理的な壁: 見えにくい心の負担

モチベーションの低下、同一の回復訓練は、子どもたちを飽きさせ、集中力維持が困難
精神的なストレス: 痛みや将来への不安、長期入院による孤独感、前向きな気持ちを失わせる



リハビリが「**つらい義務**」として重くのしかかる

- ✓ リハビリを拒否してしまったり、意欲的に取り組めなかったりするケース
- ✓ 「継続できない」という状況が、子どもたちの回復の可能性を妨げる最大の障壁



上肢訓練(魔法使い)



エルゴメーター(街中自転車走行)

市販ゲームプロダクトとリハビリ用コンテンツの違い

- ✓ 患肢の可動域に合わせたキャリブレーション
- ✓ 上肢挙上時間に応じた魔法変化(最適時間上限設定あり)
- ✓ エルゴメーター最適速度で高スコア



岡山大学病院



日本電子専門学校



まとめ

- ✓ 見た目(むくみ、脱毛など)を気にする必要がない
- ✓ 会話を頑張らなくてよい
- ✓ 医療者と患者の関係性が近い
- ✓ 年齢差があってもコミュニケーションがスムーズ

入院中も全国と繋がれる！小児・AYA世代がん患者さんのメタバース

READYFOR 10/30まで実施中

企業・AYA世代がん患者さん用のメタバースのもう一つの病棟

※全国に！

一人でも多くの入院中の病棟を繋げるために

ふるさと納税と同様に控除されます

より患者さんの交流機会を増やすため
更に参加施設を増やしたい

第一目標		セカンドゴール		
経費内訳	経費(円)	項目	金額(円)	備考
iPad 1台60,000円 + meta quest3s 1台 50,000円 + マネージングウェア 8,000円 + フォイスクラウド 4,000円 + 20施設	2,520,000円	患者数多い6施設に1セット追加	756,000	126,000円 × 6施設
施設セットアップ補助 岡山・東京 10箇所	360,000円	新規5施設に1セット配布	630,000	126,000円 × 5施設
メタバースガチャ商品 20,000円 × 20施設 + メタバース空間制作費 330,000円 × 2施設	1,060,000円	ポケットWi-Fi導入	500,000	通信環境改善用
メンテナンス、お礼状送付代	26,000円	マニュアル作成費	310,000	Web・動画対応
運営事業手数料(12%+税)	594,000円	メタバース空間制作費	330,000	追加制作
		発送料・移動費等	52,500	第一+第二分含む
		返礼品等	18,670	支援者対応
		運営事業手数料	342,830	12%+税
合計	4,560,000円	合計	2,940,000	セカンド分総計



長谷井先生への謝辞

この度は、岡山北ロータリークラブの例会にお越しいただき、誠にありがとうございました。卓話では「メタバースを用いた小児・AYA世代がん患者さんの孤立・孤独改善に向けた取り組み」についてお話しいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

先生の熱意あるご講演は、メタバースという先進的な技術を活用することで、病気と闘うお子さんや若い世代の方々が抱える社会的な孤立や孤独感をどのように解消していくか、その具体的な取り組みについて、深く理解する機会となりました。

小児・AYA世代のがん患者さんは、病気そのものだけでなく、社会とのつながりを失ってしまうことへの不安や辛さも抱えていらっしゃる伺い、先生がその困難に寄り添い、希望をもたらしそうとされている活動に、感銘を受けました。

先生の先進的な取り組みが、一人でも多くの患者さんの力となり、社会全体で支える温かい輪が広がっていくことを願っております。

今後とも、先生のご活躍を心より応援しております。



岡山北ロータリークラブ 高島 浩